

第1回新ごみ処理施設処理方式検討委員会 摘録

日時 平成21年5月1日(金)16時20分～17時00分

場所 四條畷市役所 本館3階 委員会室

出席 委員3名(全3名)

【開会】

- (1) 新ごみ処理施設処理方式検討委員会設置要綱第6条第3項の規定に基づき、委員の半数以上の出席があり、本会議成立の報告。
- (2) 四條畷市交野市清掃施設組合管理者挨拶。

【案件】

- (1) 委員長の選任について

〈事務局〉 新ごみ処理方式検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員長は委員の内から委員会で互選することとなっております。そこで、委員長を浦邊先生にお願いしたいと存じますが、ご異議はございませんでしょうか。

〈一同〉 異議なしです。

〈事務局〉 ありがとうございます。ただ今、異議なしとのご発言をいただきましたので、委員長を浦邊先生に決定させていただきます。早速ではございますが、浦邊先生に委員長就任のご挨拶を一言いただきたいと存じます。お願いいたします。

〈委員長〉 新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会の方でも副委員長をさせていただいておりますが、その関連もあって、この処理方式の委員会の方も委員長を引き受けさせていただくこととなりました。委員の皆様には、専門のお立場からご審議賜ればと思っております。3人でこの組合の意向に沿って討議していきたいと思っておりますので、よろしくご協力の程、お願いいたします。

〈事務局〉 ありがとうございます。これ以降の進行につきましては、委員長の方をお願いしたいと存じます。それでは委員長、よろしくお願いいたします。

〈委員長〉 それでは、まず委員会の公開について、協議させていただきたいと思っております。処理方式の検討は、メーカーさんから資料等を提出いただいて検討していこうと考えておりますので、自分たちのノウハウが公開ということになりますと、正当な競争ができないというようなこともありますので、第2回以降は非公開、そして、基本計画検討委員会への報告のときは、公開というような格好で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

〈A委員〉 実際に、メーカーの資料を広げながらとか、あるいは実名がどんどん出てくると思うので、それはやはり公開になじまないと思います。メーカーさんにとっても公開されるのは好ましくないと思いますので、メーカー資料等を出すときには、できましたら非公開でやりたいと思っております。最終的に基本計画検討委員会に、このような検討を行い、このような結果を得ましたという時は、もちろん公開でしたらいいかと思っております。

けども。

〈委員長〉>そういったことで、第2回以降は非公開、そして、最終の報告を行う委員会は公開と
いうようにしたいと思います。また、報告の仕方も、メーカーの実名を出さずに、A
社、B社、C社というような格好でやらないといけないのかもしれませんが、その点も、
ご理解いただきたいと思います。

(2) スケジュールについて

〈委員長〉>プラントメーカーへのアンケート調査から実施するのですが、その前に、意向調査み
たいなものやってみてはということですね。これについて、ご審議願います。

〈A委員〉>意向調査というのは、アンケートに答えてもらえますかという調査ですね。

〈事務局〉>そうですね。いきなりアンケートをするのではなくて、まず意向調査をしてアンケー
トの効率を上げようということです。

〈委員長〉>そのアンケート調査以外に、先程の委員会で要望のあった、プラントメーカーに聞け
ないような調査ですね、例えば失敗例というようなことや事故事例とかについては、
コンサルさんと行政の方で、別途、調べていただけるようにお願いします。それから、
行政間で調査ができるようなものがあれば、ぜひデータを把握して検討委員会に出し
ていただければと思っております。

〈事務局〉>行政としましては、いわゆる使い勝手の問題とか、教訓になった例とか、過去の経験
をふまえて新たな技術が投入された例とか、そういうふうなことも含めて自治体間で
調査ということ。

〈委員長〉>また、価格については、全都清さんの方でデータベースが出てますんで、これらを使
いながら整理していただいて、我々委員会の方で検討、判断ができて、基本計画の委
員会にも報告ができるようなデータをきっちり揃えていただきたいと思っております。

〈事務局〉>アンケートを実施するにあたり、こういう項目はきっちり整理すべきだというポイン
トをいただいて、建設費ということも検討に含めてご審議いただければありがたいと
思います。あと、全都清のデータにつきましては、取り寄せたいと思います。

〈A委員〉>ポイントですが、発電量は、実際に発電した量を報告していただきたい。それと、維
持管理にかかるコスト、特に数年で交換するようなスーパーヒーターの交換のコスト、
それから最後は、灰溶融において、出てきた灰を全量溶融してるかどうかということ。
この3つぐらいを特に気をつけてやっていただければと思います。

〈委員長〉>いま、ここにあります計画ごみ質の中に、元素組成は測っておられますか。

〈A委員〉>だいたいごみ1kgあたりで塩素は5gで計算してもらえますか。それと硫黄を1gぐら
いで。

〈委員長〉>施設の条件で下水道放流の有無によっても、大変違ってきますので。そしてアンケー
ト実施の依頼者は、事務局長名で出していただいて行政としてやってください。

〈事務局〉>最大限、期限を遵守しながら頑張っていきたいと思います。また、状況は逐一、ご連
絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

〈委員長〉>それから、6方式について、プラントメーカーさんにアンケート調査（意向調査）を

実施して、辞退されたり、1社しかないようなことになる、6方式から検討対象外としてもよろしいでしょうか。

〈事務局〉私共としては競争原理が働くということと、あとコンセプトの視点でもって、処理方式を検討していただきたいと思います。

〈委員長〉今回のアンケート調査には参加しないけど、事業には参加しますというのはあってもいいわけなんですね。

〈事務局〉私共はどうしても炉を建てるんだという気持ちを意向調査の文面にきっちりメッセージとして伝えて、アンケート調査へ1社でも多くの賛同いただきたいと思います。

〈委員長〉あとは第2回委員会の日程ですが。

〈A委員〉例えば、17時からとか。6月10日の水曜日はどうですか。

〈B委員〉結構です。

〈委員長〉そうしましたら、次回委員会は10日水曜日の17時からとさせていただきます。これをもちまして、第1回の処理方式検討委員会を終了いたします。

〈事務局〉どうもありがとうございました。

【閉会】

以上